2019,6,8「交流学習会」報告

2019 年 6 月 8 日に行われた第 8 回定期総会後に、元国際労働機関 ILO コロンボ事務所長で会員の友田シズエさんから「ILO コロンボ事務所長時代の経験」のテーマで、交流学習会が行われました。総会後同じ会場のフレンドリー３回で、約 20 人が友田さんの貴重な体験を伺い、質問や感想を出し合いました。

友田さんは 1997 年 12 月から 2001 年 1 月までの約 3 年間のスリランカでの ILO 事務所長としての体験を話されました。当時のスリランカはストライキが多発していて、その調停・仲裁の仕組みづくり、中東諸国で働くスリランカからの出稼ぎ労働者の権利擁護、外国からの投資を呼び込むためのスリランカ国内に設けられ経済特区での労働者の処遇改善など約 1 時間、政府や企業の関係者とのやり取りを交えながらの話でした。普段の私たちの生活にあまりなじみのない ILO がどのような活動をし、役割を果たしているかが具体的に聞けて、スリランカについても少し身近になったような気がします。その他にもイギリスの植民地時代に紅茶農園の労働力として連れてこられたタミル人労働者たちの環境や、地方での雇用創出のためのワークショップでの体験など貴重なお話を伺うことができました。その時代から約 20 年を経て今年のスリランカツアーにも参加された友田さんは、20 年前に比べ経済的に大きく発展した現在のスリランカに、今でも親しみを感じていると話されていました。参加した方からの「当時の友田さんの活躍が目に浮かびます」という感想は、皆さんが感じたと思います。ありがとうございました。

この後、今年 3 月のスリランカツアー参加者からの報告や感想、これまで支援してきた小学校からの施設の改善やお礼の手紙などが、スライドで紹介されました。